



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011～2012 年度

国際ロータリーテーマ：カルヤン・パネルジー会長



NO.1185 / 2012. 6.15

東京赤坂ロータリークラブ

例会日／毎週金曜日12:30

例会場／ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局／〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel / 03-3505-5976 Fax / 03-3505-6004

E-mail / akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

URL / http://www.akasakarotary.com/

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「未来に向かって広げよう心の絆 赤坂ロータリークラブ」

2011～2012 年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ／高須康有会長

●本日の例会 / 2012 年 6 月 15 日 第 1212 例会

卓話：「イノベーションで最適社会へ」

株式会社三井アソシエーツ 三井 善雄 氏

●前回報告／2012 年 6 月 6 日 1211 回例会

東京麻布・東京赤坂 RC 合同例会

卓話：

「アルペンスキーの世界」

株式会社ネーヴェ

代表取締役 岡部 哲也 氏



東京麻布 RC 次年度 加藤会長、鈴江副会長、水野幹事 挨拶



東京赤坂 RC 次年度 尾関会長、清水副会長、飯島幹事 挨拶



会長報告：

地区より訃報が届きました。

『当地区現ガバナー 片倉章雄氏が 5 月 30 日に逝去いたしました。(享年 82 歳)ここに追悼の意を表し、慎んでお知らせいたします。葬儀は故人の意思に従いまして親族のみにて密葬で執り行われました。後日「偲ぶ会」を行う予定ですので、詳細は分かりしだいお知らせいたします。』



6 月 6 日(水) / 10 件 23,000 円

累計 1,103,000 円

多額の寄付を有難うございました。

東京麻布 RC 社会長、渡邊副会長、平野幹事/本日の合同例会祝して。東京赤坂 RC の皆様大勢の参加、有難うございます。尾上寛/麻布さん、本日の例会お世話になります。尾関武男/麻布さんとの合同例会楽しみにしておりました。西澤民夫/麻布さん、いつもお世話様です。岡部さん楽しみにしています。小林博茂/合同例会、雰囲気がいいですね。庄司泰典/合同例会を祝して。土屋さんニコニコ御苦労様です。清水寛/麻布の皆様と合同例会、人数が多いと良いですね。土屋さん御苦労様。佐藤仁/合同例会を祝して。土屋さんニコニコ御苦労様です。秋吉志郎/土屋さん、ニコニコ御苦労様です。土屋東一/合同例会を祝して。皆さん沢山のニコニコありがとうございました。

出席報告：

赤坂 RC：

会員 44 名/ 出席 19 名
欠席 25 名

麻布 RC

会員 20 名/ 出席 15 名
欠席 5 名

ゲスト：岡部哲也(卓話)

ビジター：梅澤武男(東京調布むらさき RC)、井村廣巳(東京日野 RC)、武井敏一(東京日本橋 RC)、林 芳(東京米山友愛 RC)

5 名(順不同・敬称略)



平成24年5月29日 15時から2時間半にわたって新宿ハイアット・リージェンシーで開催されました。77クラブ(2750地区・国内84クラブ中)、150名(国内4194名中)が参加しました。当クラブからは尾関次年度会長、飯島次年度幹事及び西澤次年度会員増強委員長の3名が出席しました。

佐久間ガバナー・エレクト(目黒RC)のほか、往年の美女優司葉子さん(恵比寿RC・増強委員)も参加されました。また、最近誕生した東京米山友愛RC(留学生中心で例会は夜間と土曜日開催)とか東京iシティRC(夜間例会のみ開催)などの新しい形のクラブの皆さんも参加しました。

RIが2011年9月に2015年6月30日までに会員を130万人とするの方針を決定しました。日本のRC会員数はこの10年にわたり、減少を続けています。増強は地区別には配慮するとのことですが、今回のセミナーはこの決定を受けて行われたもののようです。

セミナーは市川パストガバナーの「会員増強3カ年計画とわが地区における会員増強の課題」という基調講演からはじまり、石井地区会員増強・拡大委員長の「会員増強・拡大をどう実現するか」、パネルディスカッション「会員維持をどう実現するか」、辰野パストガバナーの講評で幕を閉じました。

2時間半のセミナーを受講してそれぞれのクラブはいろいろ苦勞をしながら、工夫を凝らして会員維持を図っていることがよく理解でき、とても興味深く話を聞くことができました。これは偏に日本のRCの問題でなく、日本全体が抱える問題と重なることに気が付きました。

市川パストガバナーの講演の中で心に残ったものをいくつか以下に抜粋します。

1. 会員増強ができないNeckはRI規制・規律の故か？
或いはわれわれが長い間に自然に“ロータリーはかくあるべき”と考えて、作った「私達の規制」の故か→もしそうなら人や友が変えるのを待つべきではなく“あなた”、“あなた方”が率先して変えるべきではないか。

2. “立ち上げれ、そして障子をあけて外を見よ”

3. J・F・ケネディ“政府が何をしてくれるかを言うのではなく、国民が政府に何をしてあげられるか。国民が政府にどんな貢献ができるか”

(次年度会員増強委員長 西澤記)

2012-13年度 国際ロータリーテーマ

2012-13年度 RIテーマは

「奉仕を通じて平和を」

国際ロータリー会長は、

田中 作治 氏です。

(八潮ロータリークラブ所属)



(2012年3月21日記)

円高の是正とその効果について

このところ為替市場は1ドルに対して82円台で推移し、多少落ち着きをみせている。日銀の1%インフレ目標の設定による10兆円の資金供給が功を奏しているように思う。ここで円高は何故起きるのか、その原因について考えてみたい。

円高と言うのは、円が外貨に対して価値が高くなることである。一般には、米ドルに対して円の価値が高くなっている状態を円高と言っている。これは周知の話である。1ドル100円なら、米国で売り上げた1ドルは日本円で100円になるが、1ドル80円では同じモノを売っても80円の売上にしかない。円高は輸出企業にとって頭が痛い状況なのである。利益が減り、国際競争力も失われてくる。

円高について「欧州危機によって消去法的に日本が買われている」と言った説明がされることがあるが、実は為替相場はもっとシンプルな理論で決まっている。どういうときに円高になるか。それは、「マネタリーベース」によって説明がつく。

マネタリーベースとは、世の中に出回っているお金と、日銀当座預金残高(民間の金融機関が日銀に無利子で預けているお金)を合計した額を指す。簡単に言えば、「お金の量」である。

このお金の量が、為替レートと大きく関係している。大まかに言えば、日本の円の量を米国のドルの量で割ると、為替レートが計算できる。ざっくりとした数字を使うと、日本のマネタリーベースは、おおよそ130~140兆円、米ドルは2兆ドルで、130~140兆円を2兆ドルで割り算すると、1ドルはおおよそ65~70円である。信じ難い話であるが、意外とシンプルである。つまり「為替レートは両方の通貨の量の比である」と言うことである。

つまり円高を是正するには円を刷って増やせば良いということになる。さらに言うと、円を刷って増やせば、円安になり輸出企業を中心に増収になり、株価も上がり、景気が回復してGDPも上がり、税収も増える事になる。つまり円高、株価、税収といい方向に向かい、いい循環が生まれることになる。こうしたアプローチで財政再建することも決して不可能ではないと思う。

●次回予告/2012年6月22日(金) 第1213例会
本年度第6回・次年度第1回クラブ協議会
テーマ:「本年度各委員会活動報告と
次年度各委員会活動計画」